

としょかんワークショップ「みんなではなそう未来の図書館」一般編2回 詳細版

令和2年9月13日(日) 9:15~13:00

<開会>9:15~

生涯学習課菊池

それでは皆様、ご案内の時間となりましたので、始めさせていただきたいと思います。第2回目になります。図書館ワークショップということでご参加をいただきまして、大変ありがとうございます。前回、第1回目はですね、テーマに「みんなで図書館に行ってみよう」ということで、花巻図書館と東和図書館を見学、それから市内の図書館の現状を見ていただいたということになります。そして基調講演では、富士大学の早川先生から、図書館ってどんな場所と題しまして、最近の図書館の現状など、たくさん写真を交えてご紹介いただきました。まずは、見て聞くということを目的に開催したということになります。そして今回、第2回目です。第2回目はですね、テーマに「みんなでおさらい基本構想」ということで、まずは、現在策定しております新花巻図書館整備基本構想、これについて、このような中身ですということをまず皆さんに説明したいと思います。そのあとは、ワークショップを行って今回はワールドカフェというような形で進めます。詳しくは後ほど日程を説明したいと思います。本日も皆さんで愛着を持って利用していける、そんな図書館を考えていきたいというふうに思います。まずは挨拶です。開催に先立ちまして、花巻市生涯学習部長の市川からご挨拶いたします。

生涯学習部長

皆さんおはようございます。今日は日曜日に集まりをいただきまして、大変ありがとうございます。本来であれば今日は花巻まつりの最終日でございまして、今日夕方ですね、その広場に10数台の山車が全部並んで、この駅からパレードして上町、市街地に向かっていくという日でありまして、このあたりも小さい子供からお年寄りまで、たくさんの人でにぎわうという日であったはずでありました。残念ながらこのような状況でありますし、また、9月といえば、21日は宮沢賢治の命日で毎年賢治祭というのが開催されておりましたが、これも今年は開催できないというような状況になってまして、全国からお集まりの皆様も来られないというような、今年でございまして。そのような中で、図書館のあり方を皆様方のご意見をいただきながら考えていきたいという2回目でございます。高校生や20代の皆様方のワークショップも開催いたしまして、ホームページ等々でご覧いただいていたかもしれません。そちらにも貼っておりますし、今日は、図書館整備の基本構想、もう既に策定した部分、ここまで決まっていますということを、ご説明をしながら、皆様方にこれから具体的に計画づくりのためのアイデアやご意見をいただきたいと思っておりますので、多方面多角的なご意見をお願いしたいと思います。やはり意見たくさんありましてですね、多様な意見があると思います。お互いの意見をぜひ尊重していただきながら、よりよい図書館をつくっていききたいと私たちも思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。終わります。

生涯学習課菊池

はい、ありがとうございました。続きましてですけれども本日もですね、アドバ

イザーということで、富士大学の早川先生にお越しをいただいております。どうぞ先生よろしくお願いいたします。早川先生には要所要所でアドバイスをいただきたいというふうに思います。それから本日も進行いたします、私生涯学習課の菊池と申します。よろしくお願いいたします。この後のタイムスケジュールですけども、皆さんのお手元黄色い表紙の資料の 3 ページにも、時間割やワークショップの進め方というのを書いておりましたが、ちょっとスクリーンのほうにも映してまいりますけれども、このような感じで進めてまいりたいと思います。この後、説明会ということで新花巻図書館整備基本構想をこちらで説明します。その後休憩をとりまして、10 時 15 分から 45 分間ぐらいなのですが、ワークショップその 1、ということで始めます。その後また 1 回休憩を挟みまして、早川先生からワンポイントアドバイスをいただきながら、次のワークショップを 11 時 15 分ぐらいから予定しております。その後ワークショップの 2 が終わりましたら、それぞれ発表の時間をもらってですね、最後、講評事務連絡という流れで進めていきたいと思います。おおよそこういった形で、このような時間配分で進めていこうと思いますが、終了時間が前後するという場合がありますのでその辺はご容赦いただければと思います。もし時間が押した場合ですけども、都合により、途中で抜きたいということもあるかと思います。その際にはどうぞ抜けていただいても構わないというふうに思いますのでお願いします。それからですねその他ですけども、本日もですね記録用にカメラで撮影をしております。ホームページなどで、ワークショップの様子を紹介するということを予定しておりますので、嫌だという方がいらっしゃるかと思いますがそのときには撮る人にお声がけください。それからこの会場ですが、コロナ対策の関係なんです、定員内での利用としております。時々換気などを行っていきますし、皆様にはマスクの着用や手洗いなどはしっかりとお願いしたいというものです。それから飲み物等も、特に準備をしておきませんので、ちょっと今日涼しくていいですけども、熱中症対策なども考えられますので各自水分の補給をお願いいたします。それでも途中具合や気分が悪いなどありましたら、遠慮せずに近くのスタッフにお声がけをいただきたいというふうに思います。その他連絡はこれぐらいということで早速なんですけども、説明会ということで、新花巻図書館整備基本構想をですね、おさらいといいますか、ご説明をしたいというふうに思います。あとそれから本日ちょっと資料たくさん準備しまして、封筒の中に入れて皆さんのお手元に置いてるんですけども、ちょっと確認だけですが、1 つ目は黄色い表紙の図書館ワークショップと書かれたもの、名簿とかスケジュールが書いたものが 1 つ入っております。それから、スライドの資料ですけども、新花巻図書館整備基本構想（おさらい）というふうに書いたものが 1 つ入っておりますし、そのあとに、地図のようなものが 1 枚入っております。続けて、新花巻図書館整備基本構想、白い表紙に書かれたものが 1 つ。それから、花巻図書館への提言「知の泉豊かな時出合いの広場」と書いた表紙のものが 1 つあります。あとは、高校生とか 20 代の、ワークショップやったわけなんです、そ

れの報告概要の資料がそれぞれ入っておりますし、最後にアンケート、それから次回案内という形で、たくさん入っております。もし何か足りないなというふうな部分がありましたら、どうぞお声掛けいただければと思います。はい。それでは基本構想の説明にこのまま移らせていただきます。ちょっと準備の時間ください。あと、すいませんもう一つテーブルの上に本をですね、置いてたのを忘れていました。『僕は図書館が好き』という本も、テーブルの上に置いてますけどこれは早川先生からちょっとお借りしてまして、いろんな図書館の参考が載っているということです、合間合間に見ていただければということです置いております。

<説明会>9:30～

●新花巻図書館整備基本構想について 説明：生涯学習課菊池

はい。それではですね、スクリーンのほうにも映しましたが、これと同じものをですね、皆さんのお手元にも配布してございますけども、スクリーンの方も見ながらですね、聞いていただければなというふうに思います。新花巻図書館整備基本構想ですね、おさらいということで、説明を始めたいと思います。本日のお話ということで3点ほど大きく載せております。1つ目は、新花巻図書館整備のこれまでです。基本構想までの流れを概要的な感じで説明をしていきます。2つ目が、花巻図書館への提言ということで、基本構想ができる前の話になりますが、花巻図書館整備市民懇話会というものが、前に行われたわけなんです、その活動内容などをご紹介しますというものです。3つ目ですが、新花巻図書館整備基本構想ということで、そのとおり概要を説明するというものになります。

1) 新花巻図書館整備のこれまで

まず初めにですね、新花巻図書館のこれまでということで、簡単に触れたいと思います。現在の花巻図書館ですけども、昭和48年の開館で、今年度築47年というふうになります。かなり老朽化してきているということです。閲覧スペースが2階にありまして、エレベーターもなくですね、使いづらいということなどを言われております。下のほうに大きく書いてありますが生涯学習の拠点として、市街地再生の核として、新しい図書館の整備が求められているという状況ということになります。整備のこれまでということで、ちょっと大きな年度単位みたいな形で載せておりますが、平成23年12月からになりますけども、公的団体や図書館関係者それから公募によります図書館整備市民懇話会というのがまず最初に設置されたという経緯があります。細かについてはこの後ですね、もう少し詳しく載せたものをつくっておりますのでそちらのほうで説明いたします。その懇話会から平成24年10月にですね、花巻市のほうに「図書館への提言」ということで、提出をされているということです。その後平成25年5月ですけども、花巻中央図書館基本計画を策定というふうに書いております。中央図書館基本計画というふうに書いておりますけども、これは現在新しい花巻病院が建っておりますところです。旧花巻厚生病院跡地というところになりますが、そこに建てようとしてつくった計画ということになります。その当時は子供の施設ですとか、中ホール的なものを一緒にした基本計画ということで策定をしたというところでした。ところが、平成26年3月ですけども、この建設予定地でした花巻厚生病院跡地から土壌汚染、化学物質が出たと、ヒ素が出たということが県から公表されて、図書館整備は一旦中断ということで、ちょっと宙に浮いたというような形になったということになります。しかし宙に浮かせた状態とい

うのもなかなかですので、またもう 1 回頑張りまして平成 28 年ですが 24 年に出されました「図書館の提言」というのに基づきまして、もう 1 回構想を再構築しようということで、パブリックコメントとかですね、市民説明会をまた開催したというふうな活動を行っております。そして、平成 29 年 8 月には、また改めましてという形になりますが、今日説明する新花巻図書館整備基本構想を策定したという流れであります。ちょっと 1 つだけ方針書いておりましたけども、建設場所に関する方針ということで書いております。ちょっとこれ後ほど詳しく説明いたしますが場所については、立地適正化計画というのがあるわけなんですけど、都市機能誘導区域内につくりたい、つくりますよということまで定めて書いてあるということになります。これまでについては、ざっくりとした話でこういう流れで進んできているということになります。文字ばかりで疲れますので、たまに写真を挟んでいきたいというふうに思います。写真で一息というふうに、皆さんの資料にはありません。すいません。第 1 回目のワークショップの場面をちょっと映しております。

2)「花巻図書館への提言」

それですね、もっとおさらいというところで、花巻図書館への提言までというのをちょっとつくってみました。基本構想については 29 年 8 月にでき上がったわけなんですけど、その前の平成 23 年 12 月からのお話をしたいと思います。新花巻図書館整備市民懇話会というのが、要綱などを設置してつくったわけなんですけど、花巻図書館の機能及び将来のあり方について広く市民の意見や考えを反映するために設置するという要綱の目的のもとつくられております。懇話会の委員さんでしたけどこのときは、公共団体から P T A 連合会、青年会議所、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、花巻市地域婦人団体協議会という公共的な団体とかですね、それから図書館ボランティアからもじもじクラブ、たんぽぽの会、アイン・ブーフ、まんだけら、花巻、石鳥谷、東和、大迫のボランティア団体ということで 4 団体、それから知識、経験ということで、知と芸術の「森」研究会というところにも入っていただいて構成しております。その他公募の委員さん方が 5 名ということで入っております。このとき公募には 7~8 人ぐらい応募があったということなんですけど、選考の結果 5 名になりまして、このときの座長さんが現富士大学経済学部の教授でいらっしゃいます菊池豊先生がですね、公募で参加されたということなんですけども座長を務めたということになります。こちらのほうもちょっとこういった活動しましたということでですね、載せております。皆さんのお手元ですね、花巻図書館への提言というちょっと厚めの冊子なんですけどこの中にずっと資料的なものも入っておりましたので、後でご覧いただければと思いますが、まず第 1 回目平成 23 年 12 月に開催されたということになります。先ほど言いました公共関係団体とか公募による皆様に集まっていたいただいて開催したとあります。このときは、設置のほかに青森県三沢市図書館の望月さんという方なんですけど、来ていただきまして講話をしております。「図書館の可能性～市民がつくる図書館というけれど…」というタイトルでお話をいただいたんですが、というけれどちょっとあれなんですけども、さまざまな特色を持った図書館づくり等について講演をいただいているということになります。それから 2 回目はワークショップを開催しております。ワークショップの中身としては花巻図書館の現状と課題、花巻図書館の基本コンセプト、目指す姿なんていうのを話し合っているということです。それから 3 回目 4 回目では協議ということでコンセプトであったりキャッチフレーズの協議をしていると。それから 5 回目ですけども、キャッチフレーズをまた協議したり、それからワークショップも開催しているということになります。このときは目指す図書館を実現するためのサービスということで、ワー

クショップを開催しております。6回目につきましてもワークショップ、図書館の役割を確実に行うために、管理運営について、それから目指す図書館を実現するための、施設や機能、複合施設の部分なんかものについてもワークショップを行っているということです。第7回目についてもワークショップ、全部でワークショップを4回ほど開いているということでもあります。望ましい立地についてということで開催したということになります。第7回には、基本コンセプトについて決定しております。それから視察研修というのも行っておりまして、秋田県ですけれども、由利本荘市中央図書館というところに視察研修をしております。こちらのほうは文化交流館カダーレという複合施設なんですが、文化ホール、交流活動施設、教育学習施設、店舗、それからわいわいストリートという六つのゾーン、あとは図書館ですね、からなる複合施設というものみたいなんですがそちらに行ってみ学をしております。8回目は協議でキャッチフレーズが決定と。それから第9回、9回までやったわけなんですが、最後協議をしまして、提言書が決定ということになります。そして、平成24年10月、同じ月なんですが、その当時、大石市長でしたけれども、菊池豊座長より提言書を提出したという流れになります。はい。このとき決まりました、図書館の基本コンセプトですが、大きく3つ、郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館。2つ目が、全ての市民が親しみやすく使いやすい環境に配慮した図書館。3つ目が、暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ、知の情報拠点としての図書館ということで、3つ基本コンセプトが掲げられたということでもあります。そしてキャッチフレーズですが、「知の泉 豊かな時間出会いの広場」というのがキャッチフレーズで、寄せられたということでもあります。このような流れでですね、9回の懇話会を開催して提言書ができ上がったというような形になります。皆さんの手元の資料のですね、後ろの資料編にはワークショップで行われた内容のまとめとかですねそういったものも全部載せておりましたし、それから名簿とかですね、要綱なんていうのを皆つけておりましたので、参考にご覧になっていただければなというふうに思います。はい。ちょっとまた写真が出てまいりましたが、1回目の東和図書館の見学の風景をちょっと見ていただこうかなと思います。はい。

3) 新花巻図書館整備基本構想

基本構想のほうに戻ってまいりました。基本構想ですね、こちらのほうも皆さんのお手元にありますが、ちょっとかいつまんだ形になって大変申しわけないんですが、説明をしていきたいと思います。そもそも基本構想の位置づけというところなんですが、先ほどご説明いたしました市民懇話会から提出されました「花巻図書館への提言」それに基づきまして、図書館の機能やサービスの基本となる方針を示すものというところをつくったということになります。赤文字で書いてありますが、今後策定予定している基本計画ですとか、さらに進むと基本設計、実施設計というふうになるわけなんわけなんですが、図書館整備に関する計画を定めていく上で根幹、基となるものという構想ということになります。はい。基本構想の中身ですけども、基本方針というものが掲げられております。基本構想のですね、紙のほうでいきますと大体10ページぐらいの話になるんですが、基本方針ちょっとかいつまんで書いておりますので、1つ1つちょっとしゃべっていききたいと思います。「市民一人ひとりの生活や活動を支援」、それから「子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる」「情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館」というのが、基本方針ということで掲げておりますし、さらに、大きな3つの基本方針を載せております。この3つの基本方針がですね、先ほどの提言書から引き継いでいるというものでありまして、書かれているものがほとんどほぼ一緒です。ちょっと長くなったり短

くなったりしてるんですが。1つ目が「郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館」、2つ目が「すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館」、3つ目が「暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館」ということで、大きな3つの基本方針を掲げております。さらにですね整備に関する方針ですとかもありますので、そちらのほうもちょっと説明をしていきたいと思います。ちょっと字ばかりですいませんが、整備に関する整備方針ということで載せております。ちょっと1つ1つ説明してまいります。施設に関することということでユニバーサルデザイン載せております。こちらについてはバリアフリーで動きやすいとかですね、安全性を重視した施設ということを考えておりますし、十分なスペース、本を置いているスペースはもちろんのこと、くつろいで読書ができるとかですね、学習ができるスペース、それから図書館での企画コーナーなども、ゆとりを持ってですね、できるスペースを設けるということになります。先人や郷土資料のスペース、こちらについては先人顕彰してですね、次代を担う子供たちにその精神を継承するため資料を紹介するコーナーとなります。それから子供のスペースですけども、子供たち大きな声出してもいいようなスペースとか、楽しく読書ができるようなスペースであります。それから防災、防犯、環境への配慮、ということですが、耐震性を考慮したり、それから防犯対策も考慮したと。それからそれだけではなくて、環境への配慮ということで自然エネルギーの活用についても検討するということが続いています。それから必要な駐車スペースですけども、花巻市はとても面積が広くてですね、900キロ平方メートルあったと思うんですが、自動車を利用する方がとても多いということですので、そういった駐車スペースを確保するというところから、あわせて車椅子や障害者の利用にも配慮したスペースを準備する、自転車等にも配慮するということになります。それから施設の併設等検討とありますが、これについては、カフェスペースとかですね、それと複合的な部分についても勘案検討していくということで、書かれております。②の蔵書資料に関すること、ということなんですけど、広い分野の収集ということで、図書館ですので当然生活や暮らし、趣味にかかわる資料、などありますがそのみならずですね、専門的な資料とか地域の資料も広い分野で集めるということを書いておりますし、先人や郷土資料の充実ということで、先人郷土に関する資料はもちろんなんですけど、市役所のほうで行政資料というのもあります。今行政資料は市役所の近くの建物に入れてるわけなんですけど、そういったものも一緒に図書館のほうにですね総合的な管理収集に努めていきたいということが書いております。それから視聴覚資料、電子資料の活用、デジタルデータ電子サービスに対応できる施設を目指すというのがあります。そして運営に関することですけども、利用しやすい時間です。多くの市民が利用するということになりますので、開館時間の設定を考えるというような視点で検討するということになります。利用者の視点と書かれておりますけども、この意味はですね、市民の意見を聞く機会を設けるとともに、図書館協議会というものも設置しておりますが、そういった協議会でも協議しながら利用者の視点に立った運営を目指すということになります。それから図書館ボランティア等との協働ということで、図書館運営にとってもボランティアさんとの連携が必要なわけなんですけど、そういったものも考えていくということもあります。そして何よりも職員体制の充実ということで職員体制の充実を図って、専門的な知識を深めたり、レファレンスサービスに対応できるように、職員教育にも努めていきますということが書いております。そして4番目、サービスに関することです。レファレンスサービスの充実ということで、利用者の調査研究、課題解決に求められる、資料や情報を的確に提供できるようにするということです。そして中央図書館機能です。中央図書館ということで市内全部のですね、4館あるわけなんですけど、中央図書館としての役割を担う施設としても位置づけるという

ことになります。そのほかにも市立図書館だけではなくて、学校図書館とかですね、博物館とか記念館、そういったところとも連携を図るという部分も含まれているということになります。それから情報発信の強化ということで、若い世代であったりビジネスマンなどにも利用されるような図書館を目指すというものであります。そして最後、新たなシステムへの対応ということでインターネットを活用したりですね、デジタル資料、各種データベース、そういった新しい仕組みに対応できるような図書館を目指すということになります。そのほかにもあともう 2 つあるわけなんです、建設場所に関する方針、それから事業費に関する方針ということで書いております。建設場所に関する方針についてはちょっと後ほど触れたいと思います。最初に事業費に関する方針ということで、説明をしたいと思います。事業費につきましては新図書館のですね、建設と必要な機能、サービスを提供するための事業費を可能な限りコスト削減を努めていくということになります。一緒にまちづくり総合計画とか財政計画も一緒に踏まえてですね、整備を進めることとなります。そのほか図書館を運営していくための運営費であったり、図書購入費、それから職員体制に係る経費も十分に考慮して、今後計画していくということになります。そういったような内容が掲げられているということになります。はい。すいません、ちょっと字ばかりなんでたまに写真を見ていただければなと思います。1 回目の早川先生が説明している風景ということになります。そういった中で基本構想が策定されているというわけなんです、さらにこれからということで、次にはどうなるかということまで最後にちょっと触れたいと思います。新花巻図書館整備基本計画の策定ということで、基本構想よりももう少し詳しく細くなった計画というのも、今後つくっていかねばならないということになります。そのために、今回皆様にもお集まりいただいているというような形になります。基本計画の構成案ということで書いておりましたが、図書館整備の背景、大きくはこの構想に書かれているものと相違ないと思いますが、それから基本方針、整備計画、重要ですけども建設の場所、それから事業費、お金の部分も載せていきたいと。それから施設の規模ですね、どのくらい広さのものになるか。あとは具体的な、空間計画、細かいスペースを載せていくという形になります。それではですね、ちょっと建設場所の部分につきましては、生涯学習部長にちょっとバトンタッチをしまして、ご説明をしてみたいと思います。

●新花巻図書館の整備候補地について 説明：生涯学習部長

はい。基本構想、これは 29 年度につくりましたというのが今までのご説明でして、この基本構想、先ほどご説明あったようにバリアフリーとかですね、大ざっぱなところまで決めてるわけですね。その中でもうちょっと具体的な例えばバリアフリーに関しましては身障者用の駐車場を何台設置するとかですね。点字ブロックなり何なりどういうふうに整備していくということが具体的なところまで書いていくのが、基本計画、それを次つくっていききたい。その前の段階で皆様方からご意見をいただきたいというのが趣旨でございます。で、29 年に基本構想をつくってからですね、建設場所等についても基本計画で定めたいというのを基本構想に書いておりますので、私たちで建設場所の候補地を検討した経緯について少し補足させていただきたいというふうに思います。お手元にもお渡ししておりましたけども、候補地は立地適正化計画の都市機能誘導区域というふうなところまで、合意を終えているっていう考え方で。この地図の青い部分でございまして、上の赤い丸が花巻駅この場所ですね。そこからずっと南のほうに行きましてですね、今新しく花巻病院ができたところ、ここが前の厚生病院跡地っていうところですね、このあたりの市街地に都市機能を誘導しようという区域なわけでした、この中に図書館もつ

くりたいということでございます。赤い丸が二つあります。花巻駅ともう一つ真ん中、これは市役所ですね、市役所ですがその上のまなび学園周辺、旧花巻病院も含めてですね、そのあたりを候補地として考えてきた経緯がございます。お手元にも資料あります、立地適正化計画のですねその都市機能誘導区域になぜやるかっていうと都市機能をもう 1 回集約していきましよう、コンパクトシティーというですね、まちなかに都市機能を集めたいという考えから来てますし、この区域に建設いたしますと国の補助金が活用できるという区域です。やはり図書館数 10 億、10 数億ですかね、かかるという中で国の補助金がないと難しいという観点からそのような区域につくりたいと考えたものです。候補地としてこのまなび学園周辺等ですね、花巻駅周辺っていうのを検討してきました。で、まなび学園周辺のうち 1 番は営林署があった場所、営林署跡地です。今駐車場ですが、おわかりでしょうか。体育館の南側の区域。あと 2 番は、まなび学園の今の駐車場、学び学園の南側。あと 3 番は、花巻病院が今建ってる場所なんですが、花巻病院の場所はですね、平らな場所を探しますと少し奥の場所に限られる可能性が高いということなんです。前のほうに地下にも建物が建ってまして、それを撤去してみないとわからないところもあるんですが、かなり土地の造成などもしなければいけないという状況があります。花巻病院の跡地。4 番は駅前のスポーツ店がある場所ですね。5 番はなんプラザの隣の駐車場、東側の駐車場ということで、候補地として検討してきた経緯があります。ただそれぞれメリットデメリットがありまして、まなび学園周辺ですね、細かいところで先ほど花巻病院造成とかですね、まなび学園の前ですとそこに駐車場につくってしまうと駐車場が不足するとかですね、いろいろそれぞれ課題はあるんですが、まなび学園周辺で 1 番大きい課題はですね、まなび学園の前の道路、城内大通り 1 丁目線っていうところなんですが、歩道がない箇所がかなり多いという課題があります。歩道、車道も狭いんですけども、この道路を整備するとすると、6〜7 年、経費としても約 10 億ぐらいかかるという概算となっております。そこが少し課題と思っておりました。もう 1 つ駅前の場合はですね、4 番は J R 東日本の所有地です。スポーツ店が建っている場所なのでそこは、現段階では J R では貸してもいいというお話になってます。ただ、借りることのできるかっていう課題があります。あと 5 番は、駐車場の場所ですがここは市有地です。ただこの駐車場に建てた場合に駅に近い駐車場っていうのは、なんプラザの南側だけになってしまうので、ちょっと利用づらい。あとホテルにも影響が出るんじゃないかっていうところがございます。駅前に関しては歩道も道路もしっかりした道路になってます。融雪の道路にまできてますので、冬季間の運転も大丈夫というところはメリットです。一方でまなび学園周辺っていうのは、市の土地であるというのがメリットというふうに思っております。そうした中で、複合施設をスポーツ店のところにつくるという計画を 1 月末に市議会に公表いたしまして、皆さんこれはどうなってるんだっていうようなお話だろうというふうに思います。このような候補地の中で、市としてはこの 4 番の J R 東日本の土地を借りてやる方法はどうだろうかという案を 1 月末に市議会に公表したっていうのが複合施設整備事業構想です。ただこれはまだ決まったわけではありません。土地を借りるので土地代がかかります。その土地代を市の図書館が全部払うよりも、民間の施設でテナントとか賃貸住宅入れた複合ビルをつくって、図書館もその中に入ればそのテナント等が支払ってく。借りて払う部分もあるわけですね。そうすれば土地代がいくらかでも安くなる。なおかつこのまちの駅前の活性化にもなるんじゃないか、というような整備の手法を提案したというものでございます。ただこれ、先ほど申したとおりまだ具体化しておりませんで、実際にテナントが入るとか、入居者があるかっていうのは調査しておりません。それについては現段階ではまだ予算がないものですから、市議会の皆様や市民の皆様のご理解とか、調べてもいいよっていうよう

なことになりましたら、そのような方法はどうか調査をしていきたいというふうに考えているものでございます。まだ具体的にどの場所に建設するというのは決まっておりません。そういう中での今回のワークショップということになります。場所によってやはりこういうものがあるというような意見もあろうかなと思いますけども、このような状況も踏まえまして、皆様方にご意見をいただければというふうに思っております。場所につきましては以上です。

生涯学習課菊池

はい、基本構想の部分でしたけども、場所の部分まで含めてこういった形で基本構想を策定しているといったような説明となります。先ほども申し上げましたけども、そういった部分も含めまして、こういったワークショップであったり、意見交換会など開いてですね、またさらに皆様からたくさんご意見をちょうだいしながら次の整備基本計画のほうに進めていこうというところで、活動しているという形になります。こういったところでですね、ちょっともう時間いっぱいいっぱいな感じで、説明したという形になりますが新花巻図書館の整備基本構想、おさらい部分というところで、説明ということにさせていただきたいと思います。ちょっと質問時間等もとればよかったんですが、ちょっと個人的に休憩時間中にですね、質問いただければいいのかなというふうに思っておりましたので、ご理解いただければというふうに思います。以上であります、よろしいでしょうか。はい。

質疑応答

質問者①

すいません、時間押してるけど簡単に質問 1 つだけ質問しますけれども、今のですね、いろいろ説明があった構想なんですけれども、1 つ例の市民懇話会ですね基本コンセプトがですね、そっくり大体そのまま。今度は構想の基本方針 3 項目ですか、今の説明でも大体そのとおりだとおっしゃいましたけれども、よく見るとですね、ある意味では図書館立地のキーワードである文言が削除されているわけですね。つまり、市民懇話会のコンセプトの第 2 にですね、全ての市民が親しみやすく使いやすい、次なんですけど、環境に配慮した図書館をつくるべきだというコンセプトが、市民懇話会のコンセプトになってますけれども、うっかりするとこれ同じように見えるんですけども、今ご説明があったですね、構想案の基本方針の第 2、全ての市民が親しみやすく使いやすい、次の大事な環境に配慮したというのはこの部分ですっぱり抜けてるわけですね。それでよく見るとですね、防災、環境への配慮っていうところでですね、自然エネルギーを配慮した照明器具や冷暖房というところで環境というものが、ちょっと顔出すんですけども、この経過について、大体立地適正化計画側にフィットしたですね、計画を進める上で、僕の感覚ですけれども、例えば今もう一つの事業整備構想案ですか、駅前立地と環境はやっぱり両立しないというね、市の配慮があってこの部分を削除したのかなと思うんですけども、肝になる環境に配慮してというですね、文言が消えた経緯をちょっと教えてください。

生涯学習部長

はい。これはですね、設定したときがわかるのは多分私だけかなと思うので、私

がお答えしますが、全ての市民が親しみやすく使いやすい環境、というのがですね、表現としてわかりづらく、これを取っても同じようにとられると思って取った、というふうに考えていました。それは市民懇話会の皆様方にもお話をしたかと思いますが。環境についてはそのとおり細かい整備方針の中に、具体的な環境についても書いたつもりでありまして、わかりやすい文章という意味で使いやすい環境というのをとったっていうふうに考えています。

質問者①

すいません。今のご説明も私全く納得できません。つまりですね、環境に配慮したって言葉がとっても全体的なイメージは変わらないだろうということですけども、市民懇話会ですねワークショップ、5〜6回ぐらいやってるんですけども、そこで多く出てるのがやっぱ環境問題なんですよ。環境を重視してくれと。非日常的な空間であるべきであると、図書館は。早池峰山が見える環境とかね、もういろいろ意見が出てるんですよ。つまり環境と今の駅前立地というものがですね、論理的に両立できるということを考えにくい。つまり、この構想の最後の段階です、これいい悪いじゃないですよ、僕言ってるのは、立地適正化計画によって、都市誘導区域に図書館をつくるという方向性を示したがためにね、やっぱり環境に配慮するということの両立性が難しくなったというふうにとらえるのかですね、非常に納得できるんですよ。どっちでもとれるんだということじゃなくてね、明らかに基本的な方針のシフトが変わったというようなことを市民にちゃんと説明していただいたほうがですね、議論の深化につながると私は思ってますけれどもいかがでしょうか。

生涯学習部長

私の記憶ではその方向にシフトしたというような感覚はなくて、ただわかりやすくしたというつもりだったと思いますんで、そのあたりはこれからの議論というかですね、環境については配慮すべきだそのような意見はいただいても一向に構いませんので、そこはよろしく願いいたします。

質問者②

時間押して申しわけないですが、大事なことだと思うんですけど、基本方針のコンセプト 3 つ本当にすばらしいと思うんですが、私は岩手県立とか紫波図書館とか北上もあちこち行くんですが、この文書がすごく模範回答みたいで、花巻独自というか花巻ならではの特色入ってないと思うんですよ。どの都市でも当てはまるようなコンセプトになっているような気がして、市民懇話会の中見ると独自性というものを出してるグループの方、1つだけかな、ちょっとざっとしか見てないんですけど1つだけ。宮沢賢治を中心としたイメージとかいろいろ出してる場所1つだけしかなかったんですけど、コンセプトの場合は花巻独自性とか、例えば、それが1番肝じゃないかなと思うんで、ほかの図書館に比べて、紫波町に比べて、花巻はどうだこうだという、そういうのって図書館に対する愛着とか地域の愛着とか誇りとか、まちづくりにもつながると思うんで、そういう独自性のコンセプトを話し合うような時間というか、そういう日程というか、そういうのは大事だと思うんですけどそういう流れにはなるんでしょうか。以上です。

生涯学習部長

コンセプトというかこの基本構想で定めてる中で宮沢賢治とかにつきましても

ですね、先人、宮沢賢治、萬鉄五郎というふうには書いてはあります。それ以上にですね、いろいろ、例えばコンセプトとなるかわかりませんが、こういうことを具体的にやってほしいとかですね、そのようなご意見はどんどん言っていただいで構いませんし、それを踏まえて基本計画をつくっていきたいということでございますので、よろしいでしょうか。

質問者③

お伺いしたいんですけども、先ほど市の出された構想は決まったものではないとお話がありましたけども、ほとんどかなり詳しく新聞等に載っているわけですよ。そうすると市民の人達は駅前がいいんじゃないかという方になっているんじゃないかと思いますけども、今、こちらの方がお話しなったように自然環境というのはどこでもいいというものではないと思うんです。わかりやすいところっていうのはお話しになったけども、人の心を豊かにしていく自然環境というのはすごく大事だと思うんですね。花巻駅を構想されたときは、そういう環境をやすらぎの場、早川先生は安らぎの場となって子供から大人まで長い期間使うものだというふうにお話しになりました。駅前っていうのは若い人たちには有利だと思うんです。若い人たちが使う期間っていうのは本当に短い時間だと思うんですね。それが私たちのような年寄りになったときに、なはんプラザでいろいろな行事があったりとか、駅前が狭いからと言って立体構造の駐車場になったりとかそういうふうなことになるのと反って使いづらい、お年寄りが排除される。それから障がいのある人達はそういうところに電車に乗る方、バスに乗る人、図書館に来る人、まなびに来る人、すごく煩雑になると思うんです。そういうところに配慮して構想を発表されたのかということをお伺いします。

生涯学習部長

先ほど申し上げたとおり候補地を探してる中で、いろいろメリットデメリット、いい点も悪い点も、いろいろ各地であります。その中で私どもとしてはですね、駅前の活性化を図る図書館がいいのではないかとということで、そこに整備する場合、ただその土地を借りなければいけない、ということがあるわけですけども、そういう中でですね、いろんな手法を検討した結果、民間が建てたビルに入ってるっていう例も全国的にあります。住宅が上に乗ってる図書館もあります。そういう例も参考にしながら、こういう方法、手法はどうだろうかというふうに、提案といいますか、構想を打ち出したのが1月29日でございます。議会に説明をいたしまして、市議会には報道機関も入ってますので、その方々にも説明をするということで、同じ日に説明をいたしました。それで新聞に載ったっていうのが現状です。ただ先ほど申しましたとおり、中身はまだ検討できてないんです。実際整備をするにはですね、どのようなテナントが入るか、あるいはその住宅の需要があるか。具体的に調査しないとだめなんです、そこまでちょっと、やはり皆様から疑問を持たれてるので、予算化まだしてないというところです。これが調査してもいいんじゃないかっていうような動きが、出てくれば、私たちでもう1回調査をして、可能性を探っていきたい。というふうに思ってますが、必ずしもその方向でつくりたいというわけではありません。皆様方からのご意見で、つまり、まなびの場所のほうがいい、

やっぱり環境というよりその緑とか、何かそういう方がいいのではないかというのであれば、それでも構わないんです。私たち、必ずこちらにつくらなければいけないってことでやってるわけではありません。皆様方のそのようなご意見を、どんどん出していただいて、いい図書館をつくっていきたいと思っておりますので、そこは今のワークショップでご意見出していただければなというふうに思います。

質問者④

今日このような資料を渡されましたけれども、今ここで説明されるの見ながら説明を受けるよりも、今後こういう資料が出されるようであれば、事前に配付してほしい。とてもじゃないか、画面見ながらこっちも見ながら、そういうことできないので。これからそういう資料があるのであれば、事前に配布をお願いしたい。以上です。

生涯学習部長

はい、わかりました。それは気をつけて事前に配布できるようにしたいと思います。あとはよろしいでしょうか。まず皆様方のご意見をいただきたいという場がありますし、遠慮なくどうぞよろしく願いいたします。

生涯学習課菊池

説明から意見交換まで、大変ありがとうございます。多少お時間をちょうだいいたしましたという形になりましたけども、以上でですね、基本構想の説明ということで、終わらせていただきたいというふうに思います。それではですね、これから10分間ですが、休憩の時間としたいと思います。10時半スタートでいきたいと思います。休憩時間ですけども、部屋の換気等を行いますので、ちょっと空気を入れかえしたいと思います。それでは10分間休憩の時間といたします。よろしく願いいたします。

<ワークショップ>10:30～ 進行：生涯学習課菊池

それでは皆さん、そろそろ時間になりましたので、自分のところに一旦お戻りいただいてよろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。おそろいですね。それではですねここからは、ワークショップです。グループワークということで、進めてまいりたいと思います。今回ワークショップですけども、ワークショップに慣れてもらうということでもですね大きな目的としておりまして、やり慣れてる方もいるかもしれませんが、あまりやったことないですよという人もいるかと思ひまして、そういった意味も含めて、慣れてもらうということも含めましてやるという感じで進めてまいります。資料のですね、3ページに今日の進め方載せておりますが、大分大まかに書いてましたので、こちらのほうでその都度説明を入れながら進めたいと思います。今回はワールドカフェという手法を使ってですね、そのワールドカフェ形式という形で進めたいと思うんですが、本日は5テーブルあります。5店舗のカフェがあるというふうに思ってもらえばいいのかなと思います。そこにはお客さんであります、参加者の皆さん、それから生涯学習課や図書館の職員がいます。職員はカフェのマスターだったり店員だったりというふうに思っただけでもいいのかなと。そういう状態で今、カフェがオープンしたというイメージで、座っていただければいいのかなと思います。今日のカフェですけども、テーマがそれぞれ図書館で今〇〇〇〇のことということで、企画を行っているという感じですね、それぞれのカフェでは考える楽しさとか味わってもらい、〇〇〇〇に入る言葉っていうのを設定しております。皆さんには既にお好きなカフェ、テーマを選

んで座ってもらっている状態というところになります。本日のテーマですが、図書館で今、やってみたいこと、それからやれること、求められていること、ゆずれないこと、やってあげられることの5つです。どのテーマも非常に抽象的なものという感じなんですけど、その分ちょっと自由な感じに意見してもらえんじゃないかなということで、設定をしております。考え方としてなんですけど、例えば「やってみたい」ですけども、いろんな方向から考えられると思うんですけども、自分の立場で何々やってみたい、という見方とですね、一方では図書館側からの立場で見た部分も考えられるんじゃないかな、図書館側から見て〇〇やってみたいというようなことも一緒に、そういったことも考えてもらえるのかなということを考えておまして、2方向で考えることができるんじゃないか、またさらにはもっと違う方向から、自分からということも言いましたけども、例えば団体からとかですね、そういった部分も考えられるのかなということです。自分がとにかく思ってることをですね、たくさん皆さんに伝えるという気持ちで、意見を出していただければと思います。その辺も意識しながら、皆さんで意見してもらいたいというものです。ただしどのカフェもですね、時間制限というものを設けております。時間制限ですが、共有の時間、発表時間も含めまして、大体前半部分は40分程度で考えております。まずは、1人で考える時間が5分程度、次に、一人ひとりの考えを発表する時間が15分程度、最後に、出てきた意見をみんなで発表したものですね、それをもっと広めるという時間にしたいと思まして、それを大体15分から20分ぐらいで、40分以内ぐらいで前半部分を終了というふうな形で考えております。その2につきましては、進め方は同じなんですけど、今座っているテーブルを移動していただきます。移動していただきまして、次のテーマをまた同じような感じで考えるということですが、したがいまして、今日はですね、5つテーブルがあるわけなんですけど、1人2テーブルまで、意見してもらいたいということでありまして。ワールドカフェっていうことだと、本来であれば5つあれば5つ回るというような感じになるんですけど、考える時間をちょっと長目に多く取りたいと考えておりましたので、今日は1人2テーブルということをお願いいたします。それからちょっとルールです。最低限守っていただきたいということで書いております。スクリーンにも出ておりましたし、私の隣のほうにも字で書いてありますが、まずはですね、あくまでも皆さん個人での意見ですので、お互いに批判はしないでください。批判は厳禁です。必ず全員が発言するというのもお願いしたいと思います。ただ1人で時間は取り過ぎないようにお願いしたいです。それ以外は、自由奔放でオッケーです。質より量でということなんですけど、小さいことや、無関係かなと思うこともあるかもしれませんが、そういったものも、しゃべっていただきたい。それがヒントにつながるかもしれません。とにかく皆さんで意見を出し合って、まとめるというよりも今日は広げるというイメージで進めていければと思います。長い説明になりましたけど、こんな感じで進めていきたいと思んですけどもよろしいでしょうか。余り反応がないんですけども、始めていきたいと思します。それではですね、まず初めに、参加者交流から始めたいと思します。自己紹介です。参加者ですね、職員も含めまして、大体30秒程度ぐらいでお願いできればと思うんですけども。名前、それからお仕事、今日参加した目的、あとは余裕があれば、自分の好きな色、カラーですね、などを一緒に含め自己紹介していただければと思います。よろしいでしょうか。名前仕事、今日参加した理由、好きな色ですね、そういったものを大体30秒ぐらいで自己紹介していきたいなというふうに思します。それでは、自己紹介をよろしくお願いします。

(自己紹介)

はい。それではですね、すいません自己紹介ちょっと時間長くとっておりましたけども、終わったと思いますので、まずはここからは、1人で考える時間ということで進めたいと思います。大体時間は5分ぐらいを考えております。皆さんの目の前には、模造紙それからポストイット、ペンを準備しております。まずは1人で考える時間です。5分間、タイマーもありますのでタイマーもセットしながら、お願いいたします。では、早速ですが始めてください。お願いします。はい。今は1人で考える時間です。ちょっとわからないという人もいるかもしれませんが、例えば「やってみたい」。自分だったら、例えば1人で使えるスペース、パソコンのプログラム勉強したいとかですね。DIYの本もたくさん見たい、図書館のどこかでDIY体験をしてみたいとか、そういったようなことを考えてもらうというような感じになります。自分の将来や趣味に結びつけて考えてみるというのもいいかもしれません。ちょっと今回ポストイット小さいかもしれないんですが、自分の言葉でいっぱい書いてください。無関係かなと思うことも書いていいです。余裕があれば、テーブルファシリの皆さん、店員の皆さん、図書館の皆さんも一緒に書いてください。

(一人で考える時間)

まだまだちょっと考えながらでもいいんですが、今度は次の作業に移っていきたいというふうに思います。今度は先ほど考えました考えとか意見をですね、一人ひとり発表してもらいます。発表しながら、付せんを書いていただいたんですが、紙に張り出しながらですね、進めていけばいいのかなというふうに思っております。順番は各テーブルごとに決めていただければなと思います。それでは、早速ですが発表の時間のほうに移りたいと思います。大体15分間ぐらいでいいでしょうか。じゃあ、一人ひとりの発表時間としたいと思います。それではお願いします。

(発表)

大体15分経ちました。発表中の方は申しわけありません、ちょっとこちらのほうにも耳を傾けていただきたいと思います。早く終わったところもあるかと思うんですが、ここからの時間はですね、終わってないところは続けていいんですけども、今出てきました意見考え方を使いまして、さらにですね、意見を広げていくという時間にしたいと思います。たくさん出てきたわけなんですけど、同じ意味合いの意見とかですね、そういったアイデアをちょっとグルーピングとか仲間にしながらですね、意見と意見を足し算しながら、各テーマに沿ってさらにどんなことが考えられるかといったようなことを、皆さんで意見交換する中で、さらに広げていくという時間にしたいと思います。これからの時間は、今、出てきた意見、考えを使ってですね、さらにもっとこう広げられないかというようなことを考える時間ということで、ちょっと15分間ぐらいなんですけど、さらに、皆さんで話し合いしていただくという時間にしたいと思います。まだ終わってないところもあると思いますので、引き続き発表しながらで構わないので、さらに15分間話を深めて広げていきたいなというふうに思います。よろしいでしょうか。では、引き続きよろしくをお願いします。

(広げる)

はい。それではですね。前半部分の時間、ここまでというふうにしたいと思います。今発表されてる方
すいません。一旦ですね、椅子のほうに戻っていただければなと思います。どうでしょう、ちょっと長く
感じた方もいるかもしれませんが、前半こんな感じでやってみました。これでですね前半、今座って
るテーブルは、ここまでということになります。大変ちょっと名残惜しいかもしれませんが、皆さんとち
ょうとここでお別れということになります。お互いにお礼をしたいと思います。大変お疲れさまでござ
いました。はい、ありがとうございます。そして、後半部分になりますが、職員だけは残って次、2つ目
の自分で興味のあるテーブルに移動していただきたいと思います。ただし、朝と一緒に早い者勝ちです。
移動が完了次第、休憩の時間としたいと思います。よろしいでしょうか。なので荷物とかですね、資料と
か、持って移動していただきたいと思います。いいでしょうか。参加者の皆さんは、資料、自分の荷物
を持って、興味のあるところに、次の興味のあるところに移動していただくということになります。それ
では、移動をお願いします。はい。

(移動)

はい。いいですかね。こういう感じで後半行きたいと思います。それでは、ここからまた10分間休憩
を時間としたいと思います。それでは会場の換気をしていきたいと思います。

(休憩)

それではですね、皆さんおそろいでしょうか。いいですかね。はい。ありがとうございます。ちょっと
会場がですね、ちょっと息苦しいというような意見もありまして、ちょっと開放しながらですね、真ん中
の部分ちょっと明るいままになりますが、ちょっとこの状態でやってみようかなと思いますけどよろし
いでしょうか。はい。ありがとうございます。ちょっとこの状態で進めさせていただきます。それでは参
加者が入れ替わりましたので、ちょっとここで、予定では早川先生からのコメントということだったん
ですが、先生はもう各テーブルを歩きながらですね、コメントいただいているので最後にまとめてコメ
ントをいただくということにしまして、後半戦のほう早速ですが、始めていきたいというふうに思いま
す。参加者がしっかり入れかわりましたので、先ほどとやり方は一緒です。まず最初にですね、参加者交
流から始めたいというふうに思います。また1人30秒ぐらいでですね、名前、仕事、それから、今日参
加した目的、好きな果物にしますか、あれば。そういった感じで、自己紹介していきたいというふう
に思います。自己紹介が終わったところでですね、メンバーが新しくなっておりますので、前半の部
分をですね、前半こういう感じでしたよというのを、新しいメンバーの皆さんに、職員のほうから1分2分程
度で伝えるという時間にしたいと思います。自己紹介から、前半の様子を伝えるという時間にしたい
と思います。それでは自己紹介から始めたいと思います。お願いします。はい。

(自己紹介)

はい。それではですね、一旦、こちらのほうの説明に移らせていただきます。後半戦ですけども、先ほどと流れは一緒なんです、使ってもらおうポストイットの色が先ほど黄色でしたが、今度はピンクか水色で書いていただきたいなというふうに思います。先ほどと違う色の付せん用紙に書くのをお願いします。それではですね、まずは1人で考える時間ということで、先ほど同様5分ぐらいでお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。先ほどと要領は一緒ですので、早速ですが5分間考える時間ということでお願いいたします。

(一人で考える時間)

はい。それでは考える時間ということで5分間が経過いたしました。ちょっと考えながらでいいんですけども、次の作業に移っていきなさいというふうに思います。先ほどと同様ですね、一人ひとりの考えや意見を発表していきたいとします。ポストイットちょっと貼る部分がなくなってるかもしれないので、ちょっとこう動かしながらとかですね、あとはもしかして反対の面使ってもらおうというのでもいいかもしれませんが、ちょっと工夫しながらですね、貼りながら発表する時間にしたいとします。また大体15分間ぐらい時間を取りたいとします。それでは発表の時間にします。お願いします。

(発表)

今、すいません発言されてる方申しわけありません。発表の時間ということでとりあえずは、15分間経ちましたので、先ほどと要領は一緒ですが、このまま今度はさらに意見を広げるという活動のほうに移っていただければと思います。発表の続きをしながら、さらに広げて新たなアイデアを出すとかそういうような時間にしたいとします。また15分間ぐらいでお願いしたいと思います。最後の活動時間となります。残り15分間でさらに話を広めてもらうという時間にしたいとします。それではよろしくお願ひいたします。

(広げる)

それではですね、大変皆様お疲れさまでございました。まだまだちょっといっぱいしゃべってるというような状況でございますが、一旦ここで、活動をここまでということにしたいとします。たくさん付せん用紙が貼らさっておりますで大変うれしいです。それではですね、たくさん意見、アイデア、等々出していただきました。ちょっと時間もですね、こちらの進行がちょっと不手際ですね、ちょっと大分15分から20分ぐらい押してるといったような状況ですが、もう少しおつき合いいただければなと思います。早速なんです、今出ましたものをですね、各班ごとにですね、ざっくりこう発表していただきたいなというふうに思います。発表者なんです、前半後半見てる職員もしくは今いる参加者の方で私がやりたいという方がいればその方に発表してもらっても構わないので、そういう形で発表ということにしたいと思いますがいかがでしょうか。2〜3分程度でお願いできればなと思いますけども、よろしいでしょうか。どこか私たちの班から発表したいですというところはありますか。①やってみようからでいいですか。①から発表としたいとします。

①「やってみたい」

ちょっと附箋のほうは見えないと思いますので、見たい方は前のほうに集まっていたいで、見ていただければと思います。1 班は図書館で今やってみたいことというテーマで、皆さんに意見をいただきました。やってみたいことのほうで、まず図書館側としてやってみたいことですね。ちょっとやりたいこと、やれそうなことっていうことに近い意見になってると思うんですけども、例えば朝活をやってみたい。それに関連して、開館時間のほうを朝早くて夜長くってということも考えられるんじゃないかなという意見が出ました。例えば図書館を 24 時間開館するってということもちょっと考えられるんじゃないかなということで、そういう場合は職員がいない時間帯をつくる。例えば A I とか機械だけで、開館をする時間とかをつくってもいいんじゃないかなって意見まで出ました。あとですね、イベント的なことを言いますと、大人向けの朗読会の開催だったり、今実際には子供向けの朗読会は行われていますが、大人向けっていう部分に関してはちょっと今手薄だになっていうところで、そういうことも考えられるんじゃないかなって意見も出ましたし、あとせっかくいろんな文化芸術があるので、それとコラボレーション、図書館を利用したコラボレーションも考えられるんじゃないかなって意見が出ました。あとですね、いろんな人が使ってくれるようにっていうことでユニバーサルデザインだったりとかですね、I C T 障害者向けのコンテンツだったりとか利用しやすい施設とかサービスになるっていうことは、図書館のほうで考えられることではないかなっていうふうな意見が出ました。あとですね、新書の品ぞろえだったりとかそういった情報とかの品ぞろえ自体はもちろんなんですけれども、花巻に関する花巻祭りの今昔物語であったりとか、宮沢賢治のコーナーをつくってそこに解説員を直接置いて勉強できるっていうのも必要じゃないかなっていうふうな、意見は出ました。あとですねちょっと、利用者を増やすとか、来てみたいと思えるように、御朱印帳みたいな、スタンプラリー形式みたいな、ちょっとそういう楽しみとかがあってもいいんじゃないかなっていうふうな意見が出ました。あとスペース的な話ですと、キッズスペースとかはもちろんなんですけど、音楽ホールだったりとか、あと、学習スペースだったりとか、あと、企業さん自体が P R できるスペースだったりとか、チャレンジショップっていう、こういうお店を開きたいけど、ちょっとまだ不安だになっていう方が 1 カ月場所を借りてショップを置くとかっていうスペースもあるといいんじゃないかなっていうふうな意見が出ました。利用者側としては、常にわくわく、新鮮な本がある図書館とかですね、多様なボランティアの活動の場になれたりとか、あと図書館を利用する方々が交流できるような、こういう本お薦めだよとか、っていう、交流ができたりとかですね、それだけじゃなくて世代交流ができるような、おじいさんおばあさんの話を聞く、お茶会とかができるような、図書館もいいんじゃないかなって意見が出ました。情報発信のところなんですけれども、ちょっと広報活動、図書館の新しい情報っていうのがなかなか皆さんキャッチしづらいっていうことでしたので、図書館会員登録してる人にはダイレクトメールで情報発信するだとか、あとは、むしろ利用者側のほうでこういう本お薦めだよっていう情報を S N S などで発信できるような、タグつくったりとか、サイトつくったりとか、そういうのもこれからやってみることができるんじゃないかな、やってみたいなっていうふうな意見が出ました。ということで一般の、やってみたいこと以上になります。ありがとうございます。

②「やれる」

はい。これから 2 班の発表を始めたいと思います。生涯学習課の熊澤です。よろしくお願いいたします。2 班はですね、テーマが図書館で今やれることだったんですけども、少し解釈いろいろ広げてやれるかもですとか、今やられていることとか、お話ありました。いろいろ意見出たんですけども、その中でですねいろいろこう、カテゴリ分けをしたほうがわかりやすいかなと思ひまして、5 つのカテゴリで分けさせていただきました。1 つ目はですね、スペース・イベントといったところで図書館、機能だけでなく、スポーツジム、ライブスペースですとか、あとは企業さんの PR ブース、小さな映画館ですとか、そういったスペースを盛り込むほうが利用者増えるんじゃないのかなと。あとですね日中だけでなく、やっぱり夜利用できたりとか、また夜だけじゃなくて 24 時間利用できる日があってもいいんじゃないのかとか、幅広いニーズにこたえられるように、時間帯調整してもいいのかなっていう意見が出ました。続きましてワークショップといったところで、イベントよりももう少し具体的に内容というところで、本の読み聞かせですとか、あとは大人と子供が参加する賢治さんの読書会、賢治さんの作品いろいろあるんですけどもそういうの解釈を入れたりですとか、理解が深まるような読書会をやったりですとか、あとは花巻市図書館だけでなくですね、ほかの地域の発見ツアーということで、他市の図書館をめぐるツアーですかね、そういうのを企画したら理解が深まるんじゃないのかなという意見が出ました。やっぱりいろいろな意見出まして、次は機能・交流といったところで、いろいろな図書館に対しての機能・交流って意見が出ました。中・高生の憩いの場の提供ですとか、自由に意見が出せるような掲示板、張りつけたりですとか、またその利用者が本を紹介するようなスペースの確保も意見が出ました。またその交流といった意味でもですね。高齢者と若者のそういう交流ができるようなスペースですとか、一人ひとりが利用するだけでなく、そういった交流スペースあると。利用者増えるんじゃないのかなという意見も出ました。またそういう観光のほうにも意識を向けて飲食店紹介コーナーですとか、何かこう図書館に来てそこから観光につながるような、仕組みっていうのも盛り込んだほうがいいじゃないのかっていう意見も出ました。あとは相談というカテゴリーも出たんですけども、図書館利用者の方がですね司書さんに相談できるスペースですとか、また司書さんになりたい学生のサポートですとか、そういった相談コーナーっていうのもあったほうがいいのかという意見がありました。最後やっぱり花巻らしさっていうのを盛り込まなきゃいけないよねというところで、市民参加型の花巻市の地域史のワークショップ開いたりですとか、例えば先人紹介するブースですとかそういった花巻らしさを図書館に盛り込むということもしっかりしていかなきゃいけないよねというのは、意見が出ました。大きく 5 つに分けて、今やれることというテーマで話し合いをさせていただきました。簡単でありますけど 2 班からの発表は以上です。

③「求められている」

はい。3 番求められているものについて話し合ってきました、まずその求められているものを考えたときに 1 番皆さんの意見が多かったのが、こだわりというか独自性独創性のところです。どうせつくるなら日本一、花巻こと賢治に関しては世界一になるようなそして誇れるような、図書館であるべきだという意見は多かったです。それを彩るためにその専門知識や、欲しい情報っていうものがちゃんとそこで手に入るっていうことと、それからまちへの思いがきちんとこう表現されていると。そういった形でトータルな視点。それから文化的な視点っていうものがあって、例えば音楽演劇活動がそこで行われたり、小さな発表会とかっていうのが行われるような空間、しつらえが必要なんじゃないかっていうことで、

あと、育ちの場であり、そしていろんな人を受け皿として、受け入れていく、そしてちゃんとコミュニケーションをとれる。だから子供たちもだし、それから重度の障害を持ってる人もだし、お年寄りもだし、いろんな立場の人たちが来ても一緒にいられるようにそしてコミュニケーションがとれるように、例えば、コミュニケーション補助装置だとかもしっかりそろっていて、彼らの社会参画と、障害者だけじゃなくて、障害持ってるけれどもちゃんとコミュニケーションが一般の人や企業さんともとれるといったこと、そういった情報が、情報交換装置がしっかり読えられているということと、それから、そのためにいろんな活動が起こってるイベントやサークル情報集約っていうのもここに来ると何でもわかる。どんな人がどんなことをやってるかわかるような場面というのが欲しいということで、それを支えられるような空間づくりとして、明るくておしゃべりしやすい空間、思いも話しててもいいし、あと静かになっているところもあるっていうところを、人の力で作り出せるようなそれがわかり得るようなスタッフ、人材、それから利用者とのコミュニケーションっていうのもありました。話が来やすいこと、それからあと、不登校とか外国人移住者の学び直しの機会、リカレント教育っていうその新しい今までなかなかそう触れることがなかった専門的なものとか、あとは学び直していうことができてもっともっと生活とか、生き方を豊かにするような、そういう自分のブラッシュアップができる場所が、いうことで、そのための情報発信、ホームページなども見やすくしてほしい、ということでした。徹底的に人にやさしいっていうフレーズと、それから住民も加えて成長していくそれから進化し続けていく、図書館の整備であってほしいという思いがあります。自然も感じられて常に創造的に脳みそが働くような、五感が開かれるような体験ができるような、場所が日常的にきちんと図書館としてあることです。プラスアルファで、図書館以外の用途を多重にあったらいいなということです。ここおもしろかったんですけど、時間と金と命を惜しまずつくるっていう情熱と、でもリアリティーは大事だ、早くつくりたいっていう情熱もあって、ここはそれぞれうまい具合にちゃんとつくられればいいなと。早くて、質の高いものが早くでき上がるといいんだろうなと思いますし、あと安心で、誰もが安全にアクセスできる場所に欲しい。プロセスとしてはちゃんとコンプライアンス法令とか順守して、段取り踏んで図書館というものをしっかりつくってほしいという意見もありました。あと、少数で割れたりする場所についても、今2カ所ありきっていう話になったんですけど、もし柔軟に考えたときはまんぷくの西側に開けてる土地があるからそこらへんでもいいんじゃないかという意見も、あったのでお知らせしておきます。以上です。

④「ゆずれない」

はい、4班です。図書館で今譲れないことというテーマで話し合いをしました。すいません、全ては言い切れないので、かいつまんで発表していきたいと思います。まずなんですけれども、今、そもそも理念といいますか図書館論とか、そういう理念の部分をもっと話し合っていく必要があるんじゃないかっていうお話がありました。建物のこととか場所のこととかは、今、結構話題にはなってるんですけど、図書館ってどういう場所なのかとか、あとコロナ禍のことも考えていかなきゃいけない中で、じゃあ図書館とはっていうのもっと議論を深めていくべきっていう話がまずありましたし、あと3班での発表ともかぶるんですけど、やっぱり何か日本一を目指して行きたいよねっていう話がありました。賢治のことでいいですし、何か日本一の分野を求めていきたいっていう話がありましたし、あとは偉人コーナーをつくって、いろんな場所に記念館とか美術館とかあったりするんですけど、まず情報を1つに図書館に集めて、そこからいろんな施設のほうに誘導していくっていうような機能が欲しいんじゃない

いかってというお話もありました。場所とか複合化のことについてはやっぱりいろんなご意見があって駅前の方がいい、駅前じゃない方がいいという方もいろいろご意見がありました。あと市民の皆さんは、車利用される方々もたくさんいらっしゃるので、駐車場に関しても、立体がいいとか平面がいいとかっていうお話はたくさんいろいろあったんですけども、そういう車のアクセスのことも考えていく必要があるよねっていうことでした。あとは図書館と学校との連携・協力は必須ということで、学校図書館には司書の配置、将来的には全校的に学校司書を配置するべきというお話がありました。あとはですね、利用者を制限しないということで、市民の皆さんも市外とか県外からいらっしゃる皆さんも、利用できる図書館にしていきたいという話とか、ホームレスの方にも開かれているような図書館でありたいっていうお話がありました。あとは、スタッフのことなんですけれども専門的な司書の配置がほしいし、コンシェルジュってような形で、気軽に問い合わせができて、専門的な情報をくださる専門的なスタッフの方が欲しいというお話がありました。あとはですね、図書館は、やっぱりこれから何十年って使っていってもらえるものだと思うので、100年の計ということで、それに賛成していただいたこともいらっしゃるんですけども、これから先のことを考えて検討していく必要があるという話でした。あとは開館時間については9時から8時の開館というのもありましたし、7-11ということで、7時から11時まで開館、どこか一部のスペースだけでもいいので、そういうふうに、どの時間帯でも利用できるような場所が欲しいという話がありました。あとは、これからの進め方とかにも関わってくると思うんですけども、やっぱり市民の皆さんに図書館がどうなってるのかっていうのが届いてなかったってことがあったので、今どういう状況なのかっていうのを正式に市長から話をしたいってほしいというお話もありましたし、パブリックコメントで説明を終わらせないで、また今回のワークショップについてもただ市民の意見を聞きましたで終わらずに、要望を聞き放しではなく、確実に皆さんのアイデアとかご意見を反映させてほしいというお話がありました。ゆずれないことは以上です。

⑤「やってあげられる」

5班です。図書館で今やってあげられることについてお話をさせていただきます。いろいろ分類で分けているんですけども、あと皆さんのそれぞれの立場からいろんな意見出していただきましたので、ちょっと細かいところご紹介できなくて申しわけないんですけども、かいつまんでご説明をさせていただきますと思います。まず何より図書館は資料が大事ということで資料の意見たくさん出ました。またサービスの意見もたくさん出たんですけども、こちら、どんな人、誰でもいつでも気軽に使えるということをまず大事にしていきたいということで、いろんな方に使っていただけるようにまず、耳から入る資料、主婦の方だったりこう、なかなか何かしながらっていうのだと、本を読む時間がないという方もいらっしゃるし、障害をお持ちの方もいらっしゃいますので、そういった耳から入る資料だったりオーディオ資料そういった再生機器の貸し出しだったり、そういったことにも配慮していただきたいというような意見が出ました。あとサービスの部分なんですけれども、利用者同士の交流ということで、ブックレビューを掲示したりということで、利用者同士の交流を生むっていうのもいいんじゃないかなって意見だったり、移動図書館等だったり、最新情報、いろんな最新情報が得られる。いろんな機器を導入しても使えない可能性がある、使えないっていうなかなか使い方を知らない方も来られる可能性がある、スマホやタブレットの使い方教室だったり、障害のある方のサポートだったりそういった、本当にどんな人でも使える、気軽に使えるようなサービスがあったらいいなという意見が出ました。

また、下のほうの施設の空間の部分なんですけれども、どんな方でも利用、くつろげる空間がいいなっていうことでソファだったりカフェだったりそういったものがあればいいなっていう意見だったり、先ほど障害のある方という話もしたんですけれども、音声だけを流す部屋だったり、そもそもこういった、どんなことをやっているよっていうことがわからないといけないよねっていうことで、わかりやすいお知らせコーナーがあるといいんじゃないかなっていう意見もありました。それで今お話したのが図書館で今やってあげられることの中で、図書館側としてやってあげられることっていう話になってたんですけれども、そうではなくて、利用者としてやってあげることこんなことがあるんじゃないかなっていう意見もありまして、あと先ほどもちょっとあったんですけどブックレビューを利用者が書いたり、そもそも図書館の利用が増えるようにたくさん利用したらいいんじゃないかなっていう意見もありました。あと持ってる本の寄付だったり、利用者として関われることも何かあるよねっていうような話が出ました。あとは、その下の協力っていう部分なんですけれども、やっぱりこう図書館なんですけど、職員さんがやれることにももちろん限りがあるので、地域企業との協働、さっきのスマホタブレット使い方教室、というのものあるんですけれども、こういった地元の企業の方と協力しながらやっていけば、もっといいサービスが得られるんじゃないかなっていうところだったり、ボランティアの方と一緒に読み聞かせだったり掃除だったり保育だったり、観光のガイドだったり、そういったその道のプロだったり、使う対象者に直接かかわってもらおう。例えばティーンズコーナーだったら学生に運営してもらったり、選書してもらったり、そういった来館者の方に直接関わってもらって言うのもいいんじゃないかなっていうような意見が出ました。以上です。

生涯学習課菊池

5つの班から発表していただきました。大変ありがとうございます。もう既に皆さん写真を撮っていらっしゃいますけども、ぜひでき上がったもの写真を撮っていただければと思います。本日出ました、意見や考えにつきましては、こちらのほうで、まとめて冊子状にしましてですね、次回以降の資料として活用できるようにしていきたいなと思いますので、事前にお渡しできればいいのかなというふうに考えております。頑張ってまとめます。大変ちょっと時間押してまして大変申しわけございません。ここです、最後の発表が終わりまして、早川先生のほうから、第2回目のワークショップ、全体を見たですねご講評ということで、いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

富士大学早川教授

はい。それでは私のほうからですね。まずですね、すばらしいワークショップだったなっていうふうに思います。何がすばらしいのかということですけども、まず第1に参加された方の話してる表情を見てたんですけども、楽しそうにやられていたと。これなぜ楽しいのかというのをちょっと私考えてました。今の社会ですね、結構閉塞感のある社会っていうふうに言われますけれども、今日皆さんにですねすばらしいアイデアですね、構想まで出していただいたレベルだと思うんですけども、何で楽しいのかっていうと、こんなことが実現したらいいな、こうあってほしいなっていう話す場って、教育の場でもそうなんですけども、あんまりないんじゃないかなと。こんなことが実現したら楽しいよねと。それが、今回のワークショップでは皆さんの表情を見ているとですね、そこから、そういうような力強さ

を感じました。今日のワークショップを聞いてですね、もしこれから、アドバイザーを依頼されればですが、こんなふうに思いました。皆さんがせっかく出してくれたアイデア、構想を、じゃあどうやったら実現できるのかというところに重点を置いてやっぱり、私ができることをやっていかなきゃならないのかなっていうふうに、感じました。この前ですねニューヨークの図書館、NPOじゃないかっていう質問ありましたけれども、改めて資料を読み返してみたらNPOでした。ニューヨークの図書館はですね、ニューヨークパブリックライブラリーを紹介した本で岩波新書から『未来をつくる図書館』っていう本が出てるんですよ。まさしく皆さんの話を聞いていたら、そのものだと思いました。未来をこれからつくっていくんだというようなですね、企業のチャレンジコーナーとかですねまさしくそうだなと思いましたね。あとはですね、「日本一」「世界一」って出ました。じゃあどうすれば日本一になれるのかっていうような、アドバイスに重点を置いていきたいなっていうふうに思います。人物金ですからね。あるグループから出てましたけども。この前ニューヨークの図書館の質問をいただきましたけども。ニューヨークパブリックライブラリーで売っている本を入れるバックなんですよ。こういうふうなものがあるとどうですかね。楽しいなって思えますね。じゃあ、ニューヨークとか、海外だけなのかっていうとそうではなくて、一関市の花泉図書館がこれを使っていますね。本借りた方に一緒に貸し出して、返すということですね、私のいた南相馬。デザインをきちんとしようということで作りました。これ本借りた方に一緒に持っていったら本返したときに返却するんですけども、ある日市民の方に「早川さん、この前スーパーに行ったらね、図書館の袋に大根入れていた人いたよ」って言われたんですけども、これぐらいでちょうどいいのかなあというふうに思います。全ての人を受け入れる図書館、あと人の生き方、人生を豊かにする図書館、まさしくですね、今回そういう理念をきちんと提示していただいたなっていうふうに思っています。じゃあそれは具体的にどうすればいいのかっていうのを今度ですね、具体的なサービス計画等に落とし込んでいくっていう段階になるのだろうかというふうに、考えています。最後になりますが、皆様から出ない意見は形にしようがないっていうのだけお伝えしております。皆さんの口から出ないものはですね、形にしようないんですよ。こんなもの無理だろうと思って言わないと形にはなりません。そういう心配は私全然してませんけども。それほど、すばらしいワークショップだったなっていうふうに思います。それで市のほうへの提案、こんなにすばらしい方々が集まってきてくださっているので、ぜひ図書館オープンしたら今日の方たちに応援団になってもらえるような、これからやって終わりじゃなくてですね、繋いで、こんな方々が力を貸してくれれば、きっと日本一の図書館はできると思います。以上です。ありがとうございました。

生涯学習課菊池

はい。ありがとうございます。ぜひ皆様応援団よろしく願いいたします。それではですね大変ちょっと時間が押しまして、申し訳ございません。プログラム以上となります。あと事務連絡だけちょっと申し上げたいと思います。スクリーンの

ほうにも映しておりましたけども、一つお願いです。アンケート用紙入っておりますので、今日の感想を書いて最後スタッフに出していただければと思います。それから次回、3回目になりますが、今回は9月27日、同じく日曜日です。会場がこちらではなくて、今度は花巻市交流会館です。旧花巻空港ターミナルビルということでちょっとここから離れますが、花巻市交流会館になります。基本的には現地集合でお願いしたいというふうに思っておりますが、送迎バスのほうも用意しております、出発場所はまなび学園ですね。8時30分発で予定しております。ご利用の方あらかじめ、お知らせいただければ助かります。なお交流会館の時間ですが、基本こちらと一緒にしたけども、受け付けは8時45分ぐらいから開始できるかなと思っております。開会は9時から予定となります。なお皆様からメールアドレスをですね、教えていただいている方には、次は27日ですよというお知らせのメールを入れたいと思います。以上で事務連絡を終わります。それではアンケートの提出、それからお帰りの際にはネームプレートも返していただきたいと思いますし、忘れ物はございませんように、十分に交通安全に気をつけていただいでですね、お帰りいただくということでお願いしたいと思っております。それでは、本日は以上で終了になります。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

- 各テーマで作成した模造紙 ※付せんに書かれた意見やアイデアは別紙にデータ化しています。
「やってみたい」



「やれる」



「求められている」



「ゆずれない」



「やってあげられる」

